



## 佐久の札所

第7番札所 だいあかるさん 大関伽流山小倉観音堂

佐久市志賀下宿3200

平安朝初期天台宗慈覚大師が諸国を巡錫し、関伽流山明泉寺と共に香坂川を挟んだ小高い山「大関伽流山」に観音堂と石仏を建立と伝えられている。

熊野山法禅寺が別当を務める小倉観音堂の本尊は、馬頭観世音菩薩である。

山腹の高く迫り立つ崖の下に制作年の異なる数十体の石仏が祀られている。

石仏前の狭平地に崖壁を背に観音堂が建てられ地元民から「小倉の観音様」と呼ばれ親しまれている。(江戸時代後半建立?)

令和元年10月の台風19号豪雨によって観音堂の南麓が大きく抉られて駐車場及び本参道の一部が消失した。現在は本参道からの参詣は不可であり、残念ながら復旧の目途は立っていない状況である。



## もくじ

支部長あいさつ…………… 2	事業中間報告……………10~11
建設課長あいさつ…………… 3	台風19号 佐久地区被害状況……………12~13
御代田フットパス…………… 4~5	もりのことば見学会……………14
ウッドクラフト…………… 6~7	賛助会員の紹介……………15
祢津村の調査…………… 8	
大規模建築現場見学会…………… 9	

# 新年のご挨拶

公益社団法人 長野県建築士会佐久支部 支部長 白田 幸夫

明けましておめでとうございます。令和初の新年を迎え会員の皆様には謹んでお慶び申し上げます。

支部長として二期目就任の承認をいただき会員の皆様の温かいご理解とご協力の下ここまで無事に会の運営が出来ましたことに改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年は10月の台風19号により長野県下では甚大な被害もたらされました。佐久地域でも千曲川及びその支流において非常に広範囲で被害が発生し亡くなられた方もおりました。会員の中にも被災された方がおられます。亡くなられた方に心よりお悔やみを申し上げますと共に未だに不自由な生活をされている方々にお見舞いと一日も早く以前の生活に戻れますようお祈り申し上げます。佐久地域では古くから毎年8月1日にお墓参りの風習があります。これが過去に千曲川が氾濫し多くの人々が被災し命を落とし、その供養のため行われるようになったと知ったのは成人してからでした。「戌の満水」と呼ばれる約280年前の未曾有の大洪水で2800人以上の犠牲者が出たと伝えられています。その後先人の長年の努力により堤防が築かれ治水対策が取られてきましたが、元来千曲川という河川は大変な「暴れ川」だと言うことを伝える意味でもお墓参りの際に子や孫に伝えていかなければならないと思いました。建築士会では、まだまだ不安な生活を送っている被災者の方々に対し支援のため市町村からの要請を受けて住宅相談を実施しています。会員のアドバイスにより復旧に向けて少しでも前向きな気持ちになって頂ければ幸いです。

佐久支部では今年度県下4ブロックの中でも初の試みとして東信ブロックでの協働事業を開催しました。上小・埴科・佐久の3支部で東御市の柵津地区を対象地区として選定し田中副会長を中心に事業を進めてきました。各支部の担当委員会から参加していただいた代表の皆さんにより地域、或いは保存会の方々とイベントに向けた話し合いを重ね令和元年11月2日にそれぞれの支部から参加された皆さんと有意義な時間を過ごすことが出来ました。この事業が来年度に向けて更に発展するよう3支部で協力をしていきたいと思えます。

会員の減少などにより収入が厳しくなる中、支部の



活動にも徐々に影響が出始めています。事業の内容を精査し来年度に備えて見直しをしなければならない時期が来ています。

幹事会で議論を進めてまいりますが、会員の皆さんからも様々な観点からご意見を頂きますようお願い致します。

佐久支部恒例の新年講演会が2月3日に佐久グランドホテルにて開催されます。今年度は県の佐久地域景観賞の授賞式が合わせて行われることから景観に関連した講演内容を考え、日本大学理工学部まちづくり工学科教授の岡田智秀先生による「身近な暮らしの中で育む景観まちづくり」と題した講演をしていただきます。知人、友人お誘いの上大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

結びに、会員各位にとりましてご健勝でご活躍の年となりますことを御祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

長野県佐久建設事務所 建築課長 **金子 裕**

あけましておめでとうございます。

冒頭に、例年と同じく新年のあいさつを申し上げましたが、昨年10月の台風第19号に伴う大雨により被災された多くの方が不便な新年を迎えていると思うと、新春のお喜びを申し上げることができずにおります。

この災害では、各地で記録的な大雨が降り、当佐久管内でも1,200世帯を超える住家が被災し、2人の方がお亡くなりになるなど甚大な被害が生じました。亡くなられた方に哀悼の意を表するとともに、御遺族の方と被災者の皆様に心より御見舞い申し上げ、1日も早い復興を御祈念申し上げます。

こうした中で、長野県建築士会佐久支部の皆様には、被災住宅の復旧などお忙しい中、住宅相談に応じるなど被災者に寄り添った対応をされていることに敬意を表するとともに、県が進める復旧・復興に御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

今回の災害においては、住宅の被災により、将来の生活に不安をかかえながら避難所での生活に苦勞されている姿があり、住宅が人の生活の基盤であると考えたため実感しました。今回の台風災害、および、地震災害においても、その後、住宅を使用または家財を守るために、住宅の耐震診断・耐震改修が重要となっています。そして、避難された被災者の安心安全を確保するため、避難所の耐震性の確保も重要となります。県としましても市町村と連携して啓発に力をいれているおり、皆様にも耐震診断・耐震改修に御尽力をいただいているところですが、今後とも御協力をお願いします。

また、震後において、被災建物が余震等に対して安全に使用できるか被災建築物応急危険度判定が必要となりますが、佐久支部におかれましても昨年2月に応急危険度判定の協力に関する協定を佐久地域すべての市町村と締結され、県とも協定を締結していただくなど御協力をいただいていることに感謝申し上げます。今回の災害を見ましても、多くの関係者が連携して対応にあたることで復旧に効果的であり、冒頭に申し上げたとおり、佐久支部にも多くの御協力をいただきました。

地域の復旧・復興、特に生活の基盤となる住宅の復



興には貴会員の皆様の御力添えが欠かせません。県としましても、被災者の暮らしの再建と地域防災力の向上に向けて取り組んでいきますので、今後とも御支援、御協力をいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、令和の新時代においても佐久支部のますますの御発展と会員皆様の御健康と御多幸、そして災害がない平穏な年となることを心より御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 御代田フットパス

青年女性委員会 **市川 将明**

御代田フットパスイベントが11月10日に開催されました。1ヵ月前の台風19号の影響もあり3つあるコースのうちCコースは道路の損壊などで、今回は使用することができませんでした。その他のコースにおいても枝の散乱やコース上から至るところで道路の損壊部分が見えるなど、台風から1ヵ月経っていても影響がみられる状況ではありました。そうした中にも関わらず多くの参加者とともにマルシェなど盛大に開催することができました。私が同行したBコースでは地元の副区長さんにご説明頂きながら歩きました。フットパ

スに参加していなければ絶対に歩かないような山道や、その場所にまつわる昔のお話などを伺いながら当時を思い浮かべながら楽しく歩くことができました。フットパスの魅力は観光で訪れただけでは感じにくい、地元の人々の生活を垣間見ることであり、地元の人にとっても往来する人が増えることで地域が活性化され、さらに改めて地元の魅力に気が付くことで郷土愛が高まることだと思います。はじめは歩くなんて面白くないだろうと考えていましたが、いまではフットパスの魅力にハマりだしていますし、何よりも「歩く」ことで健康的になった気がしています。





# 御代田フットパス

青年女性委員会 **新津 加奈子**

御代田フットパスのイベントを行いました。以前より青年女性委員会の活動として続けてきた御代田フットパスの秋のイベントとして開催されたのですが、今回はAコースで浅間縄文ミュージアムの堤館長、Bコースは地元の方の解説を受けながらコースを回れるということで、より理解を深めることができるイベントでした。私は午前Aコース、午後はBコースを歩きました。Aコースでは浅間山の噴火の規模や当時のお話、それによる地層のお話、<sup>みやだいら いせき</sup>宮平遺跡から発掘された土器や大きなヒスイ、石皿などのお話を伺いました。参加された方の中に地元の方もいらっしゃり、ヒスイを

発見した場所を興奮気味に教えて頂いたり、実際に発掘された土器を触ったりと資料館で見るとより身近に、リアリティを持って体験できました。Bコースでは地元の方の先導のおかげもあり、コース内の円通寺・成隠寺の境内の中の見学までさせて頂きました。今回のイベントを通して地元の方の強力なバックアップにより盛り上げて頂いているなという感謝と共に豊昇地区、今回台風の影響によりコース歩きができなかった面替地区それぞれの魅力が発見でき、少なくとも今回参加して頂いた方々には伝えることができたのではないかと思います。今後もこういった活動を通して地元を知ること、地元の方との交流を大事にしていきたいです。



# 「親子でつくろう！ウッドクラフト」開催

地域貢献委員会 委員長 **星野 武光**

11月16日(土)、17日(日)にイオン佐久平で、毎年恒例の建築士をPRしながら、親子で木に触れてもらおうと「親子でつくろう！ウッドクラフト」を開催しました。本年は開催場所が店舗内では少し奥まって目立たないイベントホールでしたので、情報委員会のご協力のもとQRコード・HPから初めて電子事前申込みをいたしました。事前申込みの周知拡散に課題が残りましたが、二日間にお申込みを頂きました事は、今後のイベント開催の大きなプラスになりました。また、建築士のPRとして、作成時に建築確認申請業務の体験をしながら完了検査まで、子ども建築士として学んでもらい、そしてワークショップ「ダンボールの家」では人が実際に何人載れるか競う即席の家作成に家族でチャレンジして設計とは何かを知ってもらいました。

今年も上田情報ビジネスの学生さんがお手伝いくださいました。昨年から2年目となるお二方に感想を寄せて頂きました。彼らと関わられた建築士会として素晴らしいニュースがあります。10年前にイオンでのウッドクラフトに参加しイスを作成、また小学校5年生の時にはねむの木の植樹、アダプトに参加、そして今度は学生としてウッドクラフトにお手伝いしてもらい、

来春には建築会社にそれぞれ入社することが決まっています。今度は建築士として一緒に活動出来ることを楽しみにしています。





上田情報ビジネス専門学校 建築学科  
インテリア住環境コース2年 **松本 将太郎**

### ウッドクラフトに参加して

ウッドクラフトに2年連続でボランティア参加しました。作業中の子供たちが笑顔で作業している姿を見ながらのお手伝いでしたので、子供たちと一緒に楽しく作業できました。作業している子供たちを見ていると、10年くらい前に同じウッドクラフトで指導員の方と楽しくイスを作った当時の自分を思い出しました。その10年後に今度は教える側になって参加しているとは面白いなと思いました。その時のイスは今も家で使っています。

親子と一緒に段ボールで強い家を作るコーナーは、時間と材料が限られているので難しいですが、どうすれば強くなるかをみんなで考えたり、時間に追われて急いで作るのはとても楽しいです。その場で作られた強度競争の作品に、人が乗るときはドキドキしますが、思っていた人数以上が乗れた時に達成感がありました。貴重な体験ができ、ありがとうございました。



上田情報ビジネス専門学校 建築学科  
インテリア住環境コース2年 **斉藤 恵太郎**

### ウッドクラフトを体験して

私が2年間ウッドクラフトに参加したのは「仕事が好き」だからです。小さいころからモノ作りをやっていて楽しくてすぐに時間が過ぎていました。子供たちに楽しい時間を体験してほしいと思い参加しました。

今年は新しい花台が追加されていて作り方を理解するのに戸惑いました。一回作ったら理解でき、子供たちとも作れました。今年は使い方の知らない道具もなくスムーズに子供たちに教えられたり、コミュニケーションがとれたりしました。

段ボールで家を作るゲームをして、子供に混ざって段ボールを丸めて柱に見立てたり柱と柱をつなげて壁に見立てたりして4チームで競い合って見事に強度競争で優勝できました。

今回の経験では私もモノ作りの楽しさの再認識ができただけでなく、子供たちも真剣な眼差しでウッドクラフトをしていて、子供たちにもモノ作りの楽しさ・面白さが知ってもらえたと思います。



## 平成31年度 長野県建築士会 東信ブロック協働事業

# 「柵津村の調査」

地域貢献委員会 **緑川 博行**

今年度の東信ブロック協働事業は、歌舞伎舞台や社寺等が多く古来の文化的魅力が残る東御市で「柵津村の調査」を企画しました。歴史ある地域の文化的受け皿である建築群について、我々建築士会会員が知り、体感し、考える契機を作りました。それは地域活動を行う上で発信側がしっかりとした思考を持つ必要性があると感じたからです。

東信ブロックは本会事業ではなく、あくまで3支部の連合活動となるため、事業内容もさることながら組織体制作りや運営が課題であります。初の試みですので、活動コアメンバーを埴科支部の川原・清道、上小支部の竹内・金井・森澤、佐久支部緑川の6名に設定し、3支部の支部長、各委員長、事務局と調整しながらの進展でありました。11月2日の街歩きとワークショップでは「維持保全」をテーマとし、地元の「柵津地域づくりの会」の方々を聴きながら、今後の地域の課題について話し合いました。柵津地区の方々には地域に対する意識が高く、我々の活動のガイド役やワークショップにも協力頂きました。

春に企画した時は予算も人員も決まっていなく真っ白でしたが、多くの方の御協力で何とか形になり、当日は多くの方のポジティブな声が聞けて大変嬉しかったです。有難うございます。長い歴史あるものを守ることは、地域を守ることに繋がるかもしれません。

上小支部 まちづくり委員会 **竹内 恵**

### 柵津の調査 \*まち歩き編\*

柵津公民館から出発し柵津日吉神社、東町歌舞伎舞台、大日堂、百体観音堂、定津院、西宮歌舞伎舞台、長命寺を廻ってきました。

東町歌舞伎舞台、西宮歌舞伎舞台ではそれぞれの保存会の方が説明をして下さり、中も急遽見学させていただきました。同じ地区になぜ二か所も舞台があるのか？現在の活用法、建物の保存、維持の難しさなど色々と教えて頂きました。東町歌舞伎舞台では毎年4

月に公演会が行われているそうです。

大日堂など他の場所では柵津地区のまち歩きのガイドさんが一緒に歩いて下さり、建物について、歴史的背景についてなど色々とお話を聞きながら歩いてきました。

建築士として建物の保存方法などを考えさせられるまち歩きとなりました。

埴科支部 社会貢献委員会 **川原 智明**

### 柵津の調査 \*ワークショップ編\*

まち歩き後のワークショップでは、柵津地区に残されている貴重な建築物群について、どのように「維持保全」をしていくのかを話し合いました。まず、地元の方々に現状を伺うと、昨今の人口減少により地域活動や、建物の維持保全にも影響が出始めているそうです。数百年間続いてきた共通の認識や、普遍的な価値観が最近大きく変化したことにより、様々な問題が出てきているようです。こういった現象はこの地域限定の問題ではなく、あらゆる組織に共通する課題でもあります。建築士会の会員減少、それに対応する組織再編の動きも、問題の根幹は共通しているように思います。

今回は、参加して頂いた方全員から意見や感想、問題解決へのアイデアを伺うことができ、とても有意義なワークショップとなりました。





# 長野県立武道館・新クリーンセンター 建設工事の見学会について

教育事業委員会 委員長 **大町 栄一**

教育事業委員会では今年度より事業の一環として「見学会」を試みることとなりました。

その第1回目として、現在佐久市内で施工されている大型工事2物件を対象に工事見学会を令和元年9月21日土曜日に実施いたしました。

当日は生憎の天気（昨年までのソフトボール大会の時は晴れていたのに…）でしたが25名に参加していただきました。

最初に長野県立武道館建設工事現場を訪れ、工事概要の説明を受けた後に現場全域を見学させていただきました。主道場において鉄骨と集成材によるハイブリッド構造については会員より様々な質問が出ていました。県立武道館は今年春には完成するとのことです。

次に、新クリーンセンターは佐久市、軽井沢町、立科町、御代田町、佐久穂町、小海町、南牧村、北相木村、南相木村、川上村が組合を組織して整備を進めている安全、安定かつ安心なごみ処理体制を維持していくためのごみ焼却施設となります。総工費は90億円を超える工事です。こちらでは着工時から今現在までの工事の流れと岩盤掘削、全周回転現場打杭、異種複合基礎など特殊な工事のスライドを見ながら説明を受け、その後、普段は立ち入ることが出来ない炉室や焼却炉

の内部、地上30m付近の点検歩廊まで見学させていただきました。完成は令和2年12月になります。竣工後に再度見学できるといいですね。



新クリーンセンター



新クリーンセンター



県立武道館

# 平成31年度事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
7.2	東信ブロックゴルフコンペ	ウィーゴカントリー倶楽部
7.4	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館
7.4	第2回情報広報委員会	佐久グランドホテル
7.9	第1回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
7.12	第1回地域まちづくり委員会	かつ栄
7.16	第1回教育事業委員会	かつ栄
7.17	県青年女性委員会	長野県建築士会館
7.18	県木造塾実行委員会	長野県建築士会館
7.19	県法人推進特別委員会	長野県建築士会館
7.21	第3回情報広報委員会	佐久情報センター他
7.22	県住宅ストック特別委員会	長野県建築士会館
7.23	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館
7.23	県三役会	長野県建築士会館
7.23	小諸市総合防災訓練打合せ会議	小諸市役所
7.23	第2回総務企画委員会	佐久市民創錬センター
7.24	県総務情報委員会	長野県建築士会館
7.27	第4回情報広報委員会	山水
7.30	県まちづくり委員会	長野県建築士会館
7.30	東信ブロック協働事業 第1回東御市柵津地区調査に関する打合せ会議	力亭
8.6	第2回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
8.6	第2回青年女性委員会	柏屋旅館
8.7	第1回三役委員長会議	かつ栄
8.15	空き家相談	佐久合同庁舎
8.17	空家に関する無料相談会（相談員派遣）	小諸市市民交流センター
8.20	第2回教育事業委員会	佐久市民創錬センター
8.20	県選挙管理委員会	長野県建築士会館
8.21	県青年女性委員会	長野県建築士会館
8.23	県防災委員会	長野県建築士会館
8.25	小諸市総合防災訓練	小諸市役所
8.27	防災マップ作成に関する役場担当者との打合せ	南佐久町村
8.28	県三役会	長野県建築士会館



月 日	行 事 名	場 所
8.29	応急危険度判定についての対談	FM佐久平
9.1	佐久穂町総合防災訓練	佐久穂町役場
9.6	民法改正が建築士業務に与える影響等に関する説明会	佐久市民交流センター
9.10	第3回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
9.13	三団体親睦ゴルフコンペ	立科ゴルフ倶楽部
9.13	第3回青年女性委員会	佐久市民創錬センター
9.18	第2回三役会及び第3回幹事会	佐久市民創錬センター
9.21	大規模建築物現場見学会	県立武道館 新クリーンセンター
9.26	県信州木造塾特別委員会	長野県建築士会館
10.1	第4回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
10.2	第3回総務企画委員会	佐久市民創錬センター
10.4～5	三団体合同研修旅行	群馬県・福島県・宮城県
10.8	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館
10.9	第4回青年女性委員会	佐久市民創錬センター
10.11	県ゴルフ大会	信濃ゴルフクラブ
10.16	御代田フットパス秋のイベント打合せ会議	サンガコーヒー
10.18	第3回教育事業委員会	佐久市民創錬センター
10.20	御代田フットパス秋のイベント打合せ会議	豊昇地区公民館
10.24	御代田フットパスQRコード作成	佐久平総合高等学校
10.30	佐久南インター景観をつくる会片付け作業	泉地区・岸野地区
11.1	御代田フットパス コース修繕及びQRコード取り付け作業	御代田町豊昇地区
11.2	東信ブロック協働事業 「柵津村の調査」	東御市柵津地区
11.5	第5回情報広報委員会	山水
11.6	県青年女性委員会	長野県建築士会館
11.6	第5回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
11.10	御代田フットパス 秋のフットパスイベント	御代田町豊昇地区
11.11	第4回総務企画委員会	佐久市民創錬センター
11.13	県住宅ストック特別委員会	長野県建築士会館
11.15	空き家相談	佐久合同庁舎
11.16～17	親子で作ろう！ウッドクラフト	イオンモール佐久平店
11.17	第6回情報広報委員会	法禅寺他
11.22	第1回実務講習会	佐久市民交流センター
11.26	第7回情報広報委員会	山水
11.29	県三役会	長野県建築士会館

# 台風19号 佐久地域被害状況

情報広報委員会

## 概要

令和元年台風第19号(アジア名:ハギビス)は、2019年10月6日3時にマリアナ諸島の東海上で発生し、12日に日本に上陸した台風である。関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらした。

2018年(平成30年)に日本の気象庁が定めた「台風の名称を定める基準」において浸水家屋数が条件に相当する見込みとなり、1977年(昭和52年)9月の沖永良部台風以来、42年1か月ぶりに命名される見通しとなった。政府はこの台風の被害に対し、激甚災害、特定非常災害(台風としては初)、大規模災害復興法の非常災害(2例目)の適用を行った。また、災害救助

法適用自治体は2019年11月1日現在で14都県の390市区町村であり、東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)を超えて過去最大の適用となった。

## 1. 河川氾濫の状況

国土交通省によると、台風19号による豪雨で河川堤防の「決壊」が発生したのは、7つの県の合わせて71河川、128か所に上り、国が管理する河川で堤防の決壊が確認されたのは、7つの河川の12か所に上った。

また、都道府県が管理する河川で堤防の決壊が確認されたのは、67河川の116か所で、このほか、河川の水が堤防を越える「越水」などで氾濫が発生した河川も、16都県の、延べ265河川に上った。

長野県内の河川の決壊、越水の個所は以下のとおり。

〈国管理河川〉

・信濃川水系千曲川 長野市穂地先

〈長野県管理河川 1水系5河川6箇所〉

・信濃川水系麻績川 麻績村宮下地先(2箇所)

・信濃川水系皿川 飯山市北町地先

・信濃川水系志賀川 佐久市下宿 地先

・信濃川水系三念沢 長野市豊野町豊野地先

・信濃川水系滑津川 佐久市石神地先

〈千曲川越水ヶ所〉

・上田市国分

・千曲市雨宮

・須坂市北相之島

・小布施町の飯田・山王島



佐久市入沢 谷川



佐久市入沢 谷川



佐久市太田部 千曲川





佐久市原 千曲川



佐久市石神地先 滑津川氾濫

- ・長野市の篠ノ井横田・篠ノ井小森・穂保
- ・中野市の立ヶ花・栗林

## 2. 人的被害の状況

台風による人的被害は、11月14日時点で、死亡5人、重傷7人、軽傷135人。

## 3. 佐久支部地域内の家屋被害の状況

家屋被害の状況は、令和元年11月14日時点で下表のとおりとなっており、河川氾濫による被害と土砂災害による被害が堤防の決壊や越水河川の沿川で広範囲に被害が発生した。

### 【河川氾濫による家屋被害 令和元年11月14日時点】

市町村	全壊	半壊	一部損壊	左記以外		計	参考	
				床上浸水	床下浸水		床上浸水	床下浸水
佐久市	17	153	56		839	1065	138	927
小海町		4	10			14	4	14
川上村					4	4	4	
南牧村			1		2	3	1	2
南相木村		1			5	6	1	5
北相木村	2	3	5			10	4	5
佐久穂町	12	52	4		65	113	52	65
軽井沢町	2	4	9			15	2	1
御代田町			1		1			
立科町		3	32			35	3	29
合計	33	220	118	0	916	1265	209	1048

長野県建築相談連絡会、資料より

# Shell House/もりのことば 見学会

遠野未来建築事務所 **遠野 未来**

去る11月9日に長野建築士会2019建学会の一環として、当事務所の設計監理による「Shell House/もりのことば」の見学会が行われました。

台風19号の復旧作業で大変な中、15名ほどの皆様にご参加いただき、心から感謝申し上げます。

肌寒い中での見学会になりましたが、周囲の風景との関わりや外部と内部の対比、長野の木と土を使った木組と土壁の仕上がり…など皆様に熱心にご覧いただき、とてもありがたく思いました。

「もりのことば」には2つ意味を込めています。

一つ目は、長野とその近辺の森の地場の素材だけで出来ているということ、それらを単に組み合わせるだけでなく、全体が一つの「意味」として中に入った人に語りかける場とすること。そしてもう一つは、数百年・数千年単位という長い時間軸で考えると実際の建物より「ことば」のほうが長く残ると考え、思想や哲学としてもこの建築を残したいという思いからです。

私としては、この作品は建築作品としてご覧頂きたいというだけでなく、長野にこのような建築を作ることができる材料と職人さんがいること、長野は「素材と人と技術」の宝庫であることを改めて知っていただき、自信を持っていただきたいという強い思いがありました。この作品は形状的に極端な例に見えるかもしれませんが、技術的には日本の木と土の伝統と在来工法の応用で出来ています。むしろこれまでの日本で育まれた人の手技を生かしたつくりになっており、現代にそれが生かすことができることを示したいと考えて設計を行いました。

特に現在建築で使われることが少なくなってしまった「土」について。木の環境負荷が少ないのは皆様ご存知ですが、土は更に環境負荷が少なく永遠にリサイクル可能な唯一の素材です。現在ヨーロッパを中心とする海外で「土」を現代建築に取り入れる動きが活発になっており、温室効果ガス排出削減を目指す日本における先進県の長野からぜひ、「木」の建築だけでなく「土」の建築も発信していきたいものです。

この建築が皆様にとって、少しでも「長野の素材と人」「木と土の建築」について改めて考えるきっかけになれば幸いです。



写真：遠野未来建築事務所



## 賛助会員の紹介

### 株式会社ミツルヤ製作所

長野県建築士会佐久支部会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

弊社、株式会社ミツルヤ製作所は明治33年の座繰製糸器の製作から始まり、100年を超える歴史の中で培った熟練した職人技を用い、公共物件を始めとした多くの施設向けに木製家具を中心とした造作（フルオーダー）家具を納入させていただいております。

又、2009年より、食品トレー等プラスチック容器を再生したポリスチレンを原料とした「リサイクルポリスチレン製家具」（通称リポス家具）の製造開発に取り組んで参り、2017年にリポス製家具の製造について特許を取得することができました。リポス製家具は従来の木製家具とは異なり、リサイクル原料を用いていることより環境にやさしく、雨・風・紫外線に強い商品であり、近年、学校教育機関を中心に屋外用の下足入れ、デッキでの需要が増えてきております。



（長野県内 某保育園施設）

一方で、松本市内に国内・海外有数のブランド家具及び個人向けオーダー家具を取り扱うインテリアショップ+VITA店を構え、安曇野市穂高には家具のアウトレットショップX147店を展開させていただいております。

今後も、品質の高い物づくりを通じ、お客様にご満足いただけるようなサービスの提供に努め、家具を通じて皆様に感動を与えられるような事業展開に努めて参りますので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、長野県建築士会佐久支部会員の皆様のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

## 賛助会員の紹介

### 株式会社信濃公害研究所

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、平素より格別のご高配をいただき厚く御礼申し上げます。

株式会社信濃公害研究所は立科町に本社をおく、1971（昭和46）年創業の環境や食品に関する分析や測定を行っている県内でも老舗にあたる環境計量証明事業所です。長野市及び松本市には営業事務所をおき、分析や検査等は立科町の本社で行っています。おかげさまで、2021年には創業50年を迎えます。

環境や食品に関する測定分析は、食材、飲み水、室内空気、臭い、騒音や振動といった生活環境をはじめ、職場の労働環境や工場排水を、また自然界の動植物等も対象として行っています。その他に、保育園・学校の調理室や厨房の検査、衛生チェック、作業従事者への衛生教育セミナーなども行い、身の回りの安全確認のお手伝いをしています。

主な事業登録は、計量証明事業（濃度・騒音・振動）や作業環境測定になります。また、水道水水質検査機関、土壌汚染対策法に基づく指定調査機関、建築物飲料水水質検査業、建築物空気環境測定業の登録をし、2013年に衛生検査所の登録、2015年にはISO/IEC 17025:2005 試験所の認定のISOを取得しました。この認定は、化学試験分野でICP-AES（誘導プラズマ発光分光分析装置）によるコメのカドミウム分析に関するものです。

最近では、住宅等の気密測定の事業登録をおこない、シックハウス測定やアスベスト分析とともに建物の新築、改築及び解体時の検査業務にも対応させていただいております。

これからも創業以来の経験とお客からいただいている信頼をチカラに、新たな技術をプラスし、2021年の創業50年に向けて、さらに日々努力し、お客様や地域社会そして皆様に「測る技術」で貢献できるように社員一同邁進していく所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後に、長野県建築士会佐久支部会員の皆様のご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 台風19号災害の被災者支援のための 建築・住宅相談員の登録について

長野県建築士会は、「長野県建築相談連絡会」及び「長野県災害支援建築団体連絡会」合同の体制構築において、市町村からの要請を受けて現地調査を含めた被災者に対する相談を実施することとなりました。

つきましては、建築・住宅相談員としてご対応いただける方を募りたいと思います。

■お問い合わせは 長野県建築士会佐久支部事務局（電話：0267-63-8080）まで

## 身近な暮らしの中で育む景観まちづくり

講師 岡田智秀氏

日本大学理工学部まちづくり工学科  
学科長／教授／博士（工学）

（公社）長野県建築士会佐久支部・新年講演会

【日 程】 令和2年2月3日(月) 午後4～6時

【会 場】 佐久グランドホテル

【参加費】 無料

■お問い合わせは 長野県建築士会佐久支部事務局（電話：0267-63-8080）まで

### \*\*\*\*\* ●編集後記● \*\*\*\*\*

令和元年台風第19号、2019年10月12日に日本に上陸した。

関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、当地佐久でも史上最大日雨量、303.5mm/dだった。甚大な被害をもたらした。

当委員会では、この記録を残すべく近所の被災地を撮影したのが「台風第19号佐久地区被害状況」である。

心に留めて頂き、後世に役立てて頂ければ、幸いである。

また、当会報は会員同士を結ぶ橋渡し。今後の会報「ちくま」では、皆様に親しんで頂ける様に、写真・イラストや作品等（建築物・ペット・皆様の笑顔等）を掲載したく、募集したいと思います。事務局のメールアドレスまでお送り下さい。お待ちしております。

編集後記 荒井 央

\*\*\*\*\*

### 会報『ちくま』第62号 2020/1

発行者：（公社）長野県建築士会 佐久支部  
情報広報委員会

事務局：〒385-8533 佐久市跡部65-1

佐久建設事務所内

TEL 0267-63-8080

FAX 0267-63-3330

E-mail：ken8080@seagreen.ocn.ne.jp

支部HP <http://www.aba-saku.com/>

印刷：ヨダ印刷サービス株式会社

TEL 0267-22-3330